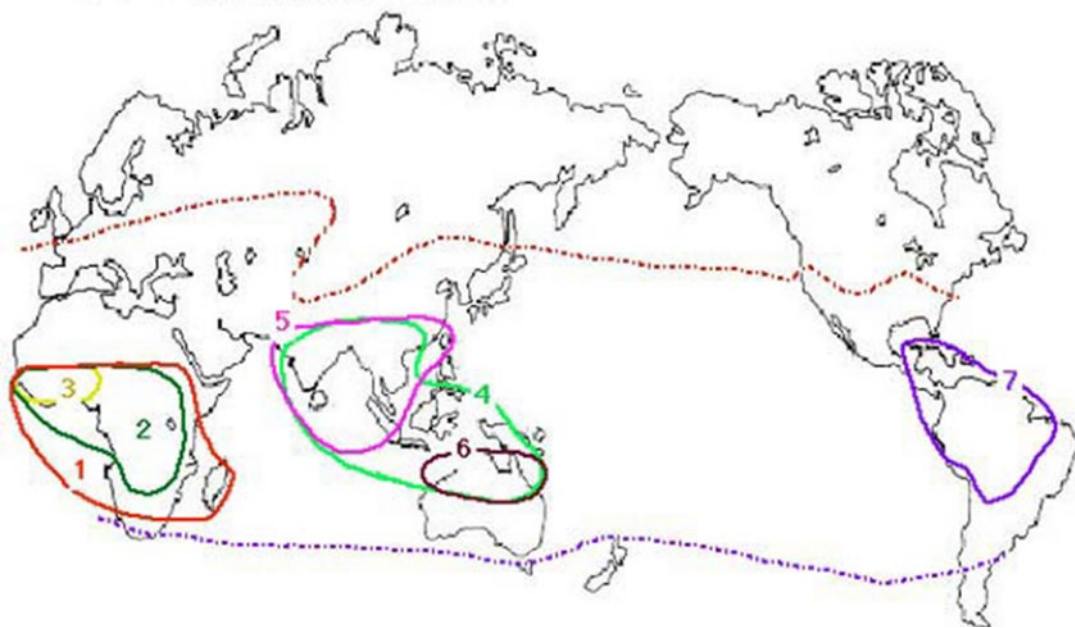


お米のはなし

お米や稲に関するちょっとした情報・豆知識を専門家が綴る「お米のはなし」の第4弾をお届けします。
(シリーズ担当: R. I.)

4. 世界の稲 (その1)

稲は世界の至る所で栽培されています。世界地図で稲の栽培範囲を見てみましょう。稲は、2000m以上の高地や砂漠地帯では育ちませんが、それ以外の地域で一定の気温と水さえあれば、あるいは必要な降雨量があれば、栽培できます。図4-1は、普段私たちが食べるお米、稲の種 *Oryza sativa* の栽培北限と南限を線(1点鎖線)で示しています。なお図中の番号1~6は、それぞれ稲の近縁野生種の分布域を示しています。ただし、3. *O. glaberrima* だけは、野生種ではなくアフリカの栽培種であり、西アフリカでは食用の稲です。このように、イネの近縁野生種は、アジア、アフリカ、中南米に分布しています。



- | | | |
|-----------------------------|----------------------|---------------------------|
| 1. <i>O. longistaminata</i> | 2. <i>O. barthii</i> | 3. <i>O. glaberrima</i> |
| 4. <i>O. rufipogon</i> | 5. <i>O. nivara</i> | 6. <i>O. meridionalis</i> |
| 7. <i>O. glumaepatula</i> | | |

図4-1 *O. sativa*と近縁野生種の分布域

(出典) Duncan A. Vaughan., 189, The Genus *Oryza* L. Current Status of Taxonomy, 1989, IRRI Research Paper Series No. 138, pp21. を筆者加工

表4-1には、世界の各州における稲の栽培面積、生産量、収量を示しました。アジアが一番の稲の生産地であり、その栽培面積と生産量は世界全体の約9割を占めますが、アジア以外に、アフリカ、アメリカ合衆国、中南米、ヨーロッパ、大洋州でも稲作が行われています。

表 4-1 世界の稲、地域別の栽培面積、生産量および収量

地 域	栽培面積		生産量		収量	
	(ha)	(%)	(t)	(%)	(t/ha)	(%)
世界全体	162,153,512	100.0	738,015,916	100.0	4.6	100.0
アフリカ	11,698,137	7.2	29,320,786	4.0	2.5	55.1
南北アメリカ	6,484,289	4.0	36,703,032	5.0	5.7	124.5
アジア	143,221,682	88.3	667,023,008	90.4	4.7	102.3
ヨーロッパ	668,113	0.4	4,194,738	0.6	6.3	138.0
大洋州	81,291	0.1	774,353	0.1	9.5	209.2

2011～2016年の平均、FAOSTAT から

表 4-2 に、世界の稲の収量上位 20 か国を示しました。収量は、オーストラリア、エジプトが 1 位、2 位を占めます。また、コメの収量上位 10 か国に、アジアの国は見当たりません。オーストラリアやエジプトで何故稲が多収になるのか？これは、灌漑設備が整っていて、必要に応じて灌

表 4-2 稲の収量 (t/ha) 上位 20 か国

順位	国	収量	順位	国	収量
1	オーストラリア	10.29	11	韓国	7.12
2	エジプト	9.44	12	中国	6.88
3	合衆国	8.33	13	ホンジュラス	6.72
4	ウルグアイ	8.24	14	パラグアイ	6.67
5	ギリシャ	7.97	15	アルゼンチン	6.66
6	スペイン	7.79	16	イタリア	6.59
7	トルコ	7.78	17	チリ	6.49
8	ペルー	7.68	18	エルサルバドル	6.41
9	モロッコ	7.40	19	台湾	6.34
10	タジキスタン	7.18	20	日本	6.26

2014～2016年の平均、FAOSTAT (2018/11/14)から

水も排水もできることは日本と同じでも、何より日射量が多く光合成が盛んである上に、夜温が下がるので夜間の呼吸による消費が抑えられ、昼間の光合成産物が効率よく蓄積されるからと考えられています。また、乾燥地帯なので、稲の病虫害が少ないことも多収要因の一つです。

序の話ですが、収量 yield と言うと、日本では 10a 当たりの玄米の重量を指しますが、世界では籾の重量のことを指すので、注意が必要です。例えば、日本全国の平均玄米収量は 5.34 t/ha (2008～2017年の平均、農林統計) ですが、これを籾に換算すると、約 6.5t/ha になります。しかし、エジプトやオーストラリアは 9～10 t/ha の高い収量になります。

(R. I.)

次号は、「世界の稲 (その 2)」を予定しています。お楽しみに。

発行：(公社)国際農林業協働協会(JAICAF)
〒107-0052 東京都港区赤坂 8 丁目 10-39 赤坂 KSA ビル 3 階

